

伊予市シティブランド確立業務 第4回市民ワークショップ報告書

テーマ:「フィールドワークの報告」

「ブランディングのためのロゴマークについて話し合おう1」

- 開催日時:平成26年9月18日(木) 19時~21時
- 開催場所:伊予市中央公民館
- テーマ:フィールドワークの報告、ブランディングのためのロゴマークについて話し合おう1
- 参加者:一般市民27人、協力職員5人、主催者スタッフ7人(未来づくり戦略室4人、セキ株式会社3人)、ファシリテーター1人、コピーライター1人

■プログラム

1. フィールドワークの報告
2. ブランディングのためのロゴマークとは?
3. ロゴマーク案発表
4. 第1回個人投票、集計
5. 個人発表
6. 第2回個人投票、集計



■フィールドワークの報告(要約)

ファシリテーターの山内氏から、9月3日(水)に開催された「フィールドワーク」についての報告がありました。

山内氏/伊予市を1日かけて周ってきました。何かをやるうとするときには、現場を歩き、空気や風を感じる事が非常に大事だと思っていますが、今回のフィールドワークで感じるものがあつたので、今日皆さんにご提案する5案、5方向のロゴマークができました。

「町家」の周辺で驚いたのは、伊予鉄郡中線とJR予讃線の駅が近くにあり、すごく便利な街だということです。「五色浜」については、五人のお姫様の話などを聞いていましたが、狭くてあまりきれいではないので、そんなにPRしなくても良いのではと感じました。むしろ「五色姫海浜公園」の人工ビーチの方が美しく良かったですね。ポスターなどでは「ポスターより実物の方が良かったね」と思わせる展開をするとリピーターが増えます。逆に前評判は良くても、実際に行ってみたら想像以下の光景が広がっていた場合は、二度と人は来ません。「萬安港」もすごく歴史を感じたし、「彩浜館」は前を通っただけですが、当時は西洋館として注目されていたそうですね。

「宮内小三郎邸」は伊予市を興した中心人物の子孫の家ですが、旧家としてすばらしいですし、前にある理容室とのバランスの悪さというも逆に面白いと思いました。京都の町家は「間口が狭くて奥が広い」ものが多いのですが、伊予市の場合は「間口も広くて奥も広い」というのは驚きですね。「栄養寺」は栄養学の創始者との関わりがあるので、食育をテーマにしたイベントなどをして面白いと思いました。西洋館の「来良夢(こらむ)」もこれから展開方法があると思います。

道後平野が一望できる「谷上山」からの眺望もすばらしいですね。「伊予灘SA」には「恋人の聖地」がありますが、中高年向けの「恋人の聖地」があつても良いと思います。シンボルとなる錠前がどんどん増えていて驚きました。「伊予神社」をはじめ、伊予市全体にはいろんな神社がありますね。「伊予稲荷神社」も立派な神社で、奥には京都の伏見稲荷を思わせる赤い鳥居の行まいがあることに驚きました。「山吹

神社」には木曾義仲の側室・山吹御前の伝説がありますが、実際に建物を見ると事実であることを匂わせる証拠がありますね。歴史とか雅とか、そういうイメージを感じながらずっと歩いていました。

「中山特産品センター」は今の看板では、施設内部の内容が十分に伝わっていない印象を受けました。「花の森ホテル」の奥に「フラワーハウス」があるとは知りませんでした。「野外ステージ」は知っていましたが観客席が草ぼうぼうで、使用者が草刈りをするというシステムでは、なかなか使ってくれないと思います。富山の利賀村(現南砺市)にある野外ステージは、夏の間1週間、世界中から人々が集まるイベントを開催していますが、住民2千人程度の村に50万~100万人が集まってきます。「クラフトの里」の看板は、残念ながらこの魅力のすべてを伝えることができていません。「大栄の案山子」は笑ってしまいました。「翠小(すいせう)学校」や「ふたみ潮風ふれあい公園」辺りもいいですね。

感動したのは「JR下灘駅」で、噂では聞いていたし、ポスターなどでは見ていましたが実際に行ったのは初めてです。「下灘漁港」ですが午後3時に市を開いている漁港は、全国でもほかにないと思います。初めて生きたハモを見ましたが、すごく大きなハモで早くブランド化した方が良いと思いました。「ふたみシーサイド公園」は知らない人はいないと思います。ここにも「恋人の聖地」がありますが、あまりあちこちにない方が良いと思います。

フィールドワーク全体を通じて感じたのは、伊予市には古代の歴史をはじめ魅力的なものがあるのに表に出ていることが多い。つまり「広報活動が不得手」だということです。多くの市町村で同じことが言えますが、それに早く気づき、解決策を見つけたところが、今、世間に名前が出始めている自治体だと思います。ですから今回のシティブランド確立業務を通じて、1つの顔を作り、それを旗印に伊予市の良いところをリストアップし、世間に広げて行くことがとても重要だと思います。

■ブランディングのためのロゴマークとは？

5つのロゴマーク案が発表される前に、山内氏からロゴマークの意味について説明がありました。

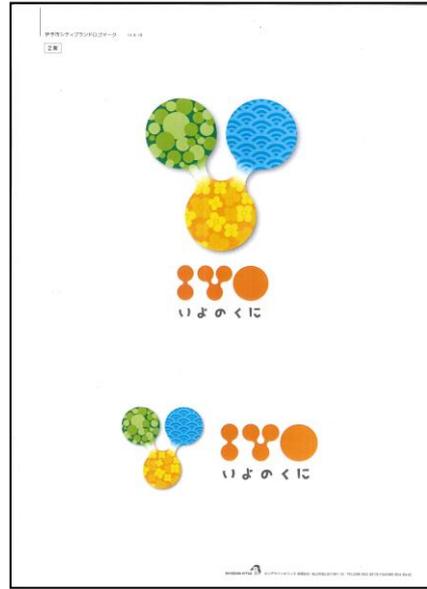
山内氏/シンボルマークを作る「義務」と「責任」というものがあります。最初は見た目だけで決めていただいても良いのですが、次の段階では「それが今後どのように使われていくのか」を想定してください。そのためには次のことを考える

必要があります。①造形的にクリアしているか ②個性があり、類似のマークがないか ③サイズや色数を変えてもバランスを失わず、シンボルマークとしての役割を果たせるか以上のことを頭に描きながら選んでください。

■ロゴマーク案発表



第1案



第2案



第3案



第4案



第5案

■個人投票

ロゴマーク5案が発表され、ワークショップ参加者による2回の個人投票が行われました。1回目は各案のコンセプトやモチーフなどの解説がない状態で、1人3票を投じました。参加者は自ら投票した3つの案を示しながら「投票した理由」

を発表しました。次に山内氏から各案の解説があり、その後、2回目の投票（各自1票）が行われ、最終的に第2案、第3案、第4案の3つに絞られました。次回ワークショップでは、この3案をブラッシュアップした案が発表されます。

案	第1回投票数	コンセプト、モチーフなど	第2回投票数
	1票		0票
	18票	もっともモダンさを意識した案。フォルムはミッキーマウスに似ているが、森のグリーンと海のブルー、菜の花(市の花)のイエローで構成。ロゴマーク部分の色は変えられないが、「IYOKO」のロゴタイプ部分は伊予を表現するときはオレンジ、双海はブルー、中山はグリーンにすることは可能。「いよのくに」を漢字にすれば、また印象が変わる。	12票
	24票	花鳥風月をイメージした案。真ん中に菜の花があり、海は双海の家、鳥の種類は決まっていないが、山や森をイメージしている。不思議さを感じてもらおう一方、茶室などにある円窓のように景色を切り抜いている最も具現化された絵に近い案。Tシャツなどにワンポイントで入れば非常に目立つ。また筆文字にすれば表情が変わるかもしれない。	11票
	17票	モダンでオシャレを狙った案。レイアウトや色を変えることで伊予、中山、双海で使い分けができる。筆文字にすればさらに表情が変わる。	7票
	16票	歴史、物語を説明的に描いた案。	3票

※上から第1案～第5案

■感想カード(一部要約)

○新しいロゴマークのイメージがいろいろ見えて良かった。いろいろな意見を聞くことができて面白かった。

○市民の皆さんがこぞって使っていただけるロゴマークになれば良い。次回が楽しみです。

○山内先生すごい！！いろんなロゴマークを考えていただき、ビックリしました。漢字や字体、色などを変えるとイメージや雰囲気までも違ってくるのが面白いと思いました。

○3市町合併を打ち出しても外来者へのアピールはあまり意味がないと思います。

○ロゴマーク1つでイメージが全然異なるのだなと感じました。印象深いロゴマークになれば良いと思います。

○どれも魅力的なロゴマークだったので決めるのが難しかったです。

○ロゴマークが決まり始めて、「小さくまとめられた伊予市の特徴が、市外の人へ伝える伊予市の第一印象になるのだな」と思うと、胸のはやる気持ちが抑えられなくなりそうです。

○ロゴマークのプランがいろいろ見られて面白かったです。人により印象と意見があり勉強になりました。ロゴは目立ってナンボ！！覚えてもらってナンボ！！記憶に残り、手に取ってみたいと思えるロゴマークになれば良い！！

○デザインで印象が随分変わることが分かった。伊予市の良いところを考え抜いてデザインされたことが伝わってきた。次回どのようにブラッシュアップされるのか楽しみである。

○初めての参加だったので、自分ではできない物の見方をする人がいたので面白かった。住んでいる場所が違ったらマークの捉え方も変わるんだと思った。個性的だけど分かり易いマークができればいいと思った。

○ロゴマーク案を見てイメージが段々湧いてきました。皆さんでより良いマークを選べると良いと思います。「県外の人にも分かり易いマークが良いのかな」と意見を聞いて感じました。

○希望を言えなかったが、全員のプレゼンを聞けたのが良かった。「四国はココ」的な、マークを見て場所が分かるようにだとすごく良いと思う。双海は海でもいいけど夕日が良い。夕日を表現して欲しい。グループで話すことが今回なく、自己紹介、コミュニケーションの機会が自主性に任された。

○ロゴマークの図案を見てそれぞれ良いところがあり、「これが1番！絶対！」というもので迷いました。今日、少し形になったマークを見て、今後どのように使えるのかを考えなければならぬと思いました。伊予市のイメージで「これだ！」というものが山内先生の中で何なのか、次回教えていただきたいです。

○今回は先生のいろんなデザインロゴマークを見て、みんなでいろいろ意見を出して話し合った。本当に素敵な伊予市のロゴマークができることを期待しています。

○伊予市のマークを決めるにあたり、自分がTシャツで着たいマークと、トータルで見たときに良いと思うものが違い、なかなか選ぶのも難しいと思いました。が、楽しいものですね。次回、どう今日のロゴが変わって来るのかがとても楽しみです。

○ロゴマークでも人それぞれ受ける印象がかなり違うのが分かった。老若男女誰が見ても分かり易いものが理想だと思うが、自分としては活性化のためのものなので明るいものが良いと思う。字体もやわらかいものが良いと思う。

○あれこれある町でイメージがまとまらないなという印象です。「ズバリ直球」というものが欲しいと思いました。

○今回の会で伊予市をどう売するのか、ということ強く考えさせられた。ロゴマーク案を見て第3案(特に黒い円)のデザインが気に入った。理由として第3案以外の色使い(デザイン)が何となく松前町に似ていると思ったから。近隣市町村とだけ比較しても仕方ないと思うが…。

○いよいよ具体的にロゴマークのデザインを決める作業が始まった。最初のワークショップで先生が言っていた「誰でもデザインができる時代にありがちな素人」な自分としては個性的なデザインに魅力を感じるが、先生の本音は違うのかもしれないと感じた。次回はどうなふうブラッシュアップされているのか楽しみです。

○全員に発言の機会があったのは良かったと思います。せっかくグループ分けしたのだからグループ内で評価し合う時間があれば良かったと思います。

○デザインを選ぶのはとても楽しかったです。第2案はデザインは好きですが、色彩が松前町とかぶる気がします。

○今後の伊予市のロゴマーク、キャッチフレーズ決定を楽しみにしています。

○実際のロゴイメージが見られて良かった。デザイナー一つひとつにいろんな意味があり、みなさんの「ここが良かった」という意見を聞いて楽しかった。

○山内先生から、第1回から第3回で検討された内容を踏まえ、伊予市のロゴマーク5案が発表された。各人が良いと思うものを選んで、その理由を各自発表していったが、みなさんの意見が大変参考になった。

○自分の第一印象や好みのタイプで選んだが、ほかの人の意見や山内先生の話聞いて思い直すことができた。次回が楽しみだ。

○デザインの意味と言葉の意味を考える年代の人が選ぶ方が面白いと思いました。

○今回のワークショップは今までで一番楽しかった。5つのロゴ(の中から候補)を選ぶのにみんなで意見を言い合い、案(候補)を絞っていく作業はとてもワクワクした。次回も楽しみです。

○ロゴマークを参加者の方と意見を出し合いながら決めて行くプロセスが、今まで経験が無かったので良かったです。いろんな業種の方が集まっていて、たくさんの角度からの意見が自分の思考に無いものが多かったので、とても新鮮でした。

○たくさんのデザインがあり、自ら歩いて感じた伊予市のイメージを様々見られて感動しました。自分たちの知らない伊予市をもっと大切に共有して、三位一体のロゴになることを期待しています。

○双海、中山、伊予市、それぞれの良さをPRしつつ統一ロゴを作るのは大変なことだと思いますが、完成されたら良いモノができると思います。

○今までで一番悩んだ会であった。今後どのようなロゴマークになるか楽しみである。もう少し、ロゴマークで伊予市をイメージできるようなデザインが欲しかった。

○自分たちのロゴマークについて、いろいろな意見を含めて形にする。そして自分たちの街を誇れるものにする1つのアピールツールとして、ものすごく面白い。本日選ばれた3つのマークが、これからみんな(の意見)でどのように成長するのか楽しみ。

